

オンライン受講 + オンライン受験も可能！ ITIL®4 ファンデーションコースのご案内

☀️ ココが違う！ITIL®4！

ポイントその1

わかりやすい！

ITIL®4は、ITILv3と比較してずっと平易で分かりやすい表現で記述されています。講習で使用する教材も図やケーススタディ、動画などを利用し理解を助けます。

ポイントその2

新たな社会人の教養！

ITILv3ではプロセス中心の解説でしたが、ITIL®4ではDXなどのへの対応のため、リーン、アジャイル、DevOpsなどの考え方やマーケティング理論を取り込み、新たな社会人の教養、と呼ぶべき内容に拡充されました。

ポイントその3

組織変革を支える！

ITIL®4は、ビジネスモデルの変革やDXへの取り組みに避けられない組織変革や組織のあり方、リーダーシップ論を語っています。ファンデーションでもその一環として「従うべき原則」などを学びます。

☀️ コース概要

本コースは、サービスマネジメントとITIL®4の基本的な概念、用語等について理解いただくことを狙う入門レベルのコースです。利害関係者（顧客やパートナー等）とともにサービス提供を通じて価値を共創していくための基本を学習します。

運用のご担当者だけでなく、開発や管理職の方々の業務に広く関連する内容であり、またITIL上位コースを受講されるためには必須のコースです。

本コース受講後、試験に合格すると、「ITIL®4 ファンデーション資格」を取得することができます。

当講習はお客様先での集合形式、またはオンライン経由でご提供させていただきます。

試験に際しては、受講者様のご自宅等から受験できるオンライン・プロクティング試験※1、またはプロメトリック社が提供している試験センターでの受験※2が選択可能です。いずれの場合も、受講者様で別途ご予約いただくことになります。

※1 オンライン・プロクティング試験： ご自身で予約した時間帯に、オンラインで試験監督が立ち会い受験可能です。ご本人様確認書類のご用意が必要になります。詳細は[こちら](#)

※2 プロメトリック社提供の試験センターでの受験：プロメトリックIDを取得後、ご希望の試験会場と試験日時を選択し、受験可能です。受験会場でご本人様確認書類のご提出が必要になります。詳細は[こちら](#)

☀️ 研修内容とAGENDA

ITIL®4ファンデーションAGENDA概要を以下にお知らせいたします。

第1日

- 1.コースの概要
- 2.主要なコンセプト
- 3.従うべき原則
- 4.サービスマネジメントの4つの側面

第2日

- 5.ITIL サービスバリューシステム
- 6.継続的改善
- 7.ITILプラクティス
模擬試験および解説

☀️ お申込み、お問合せ

コースのお申込み、お問い合わせはお電話（03-6459-4750）またはeducation@hillabit.co.jpまでどうぞ。
想定される内容に基づきお見積りを差上げます。

☀ ITIL®4の資格体系

ITIL®4では、基礎となるファンデーション資格の上位に、実務的なIT担当者のためのマネージング・プロフェッショナル(MP)、およびIT組織のリーダーのためのストラテジック・リーダーシップ (SL) の2種類の資格が設けられています。

MP移行コースは、マネージング・プロフェッショナル資格を得る目的で提供されています。



Copyright © Hillabit Corp. and the PeopleCert group 2025. All rights reserved.

ITIL® is a registered trademark of the PeopleCert group. Used under licence from PeopleCert. All rights reserved.

☀ ITIL®4の背景と特長

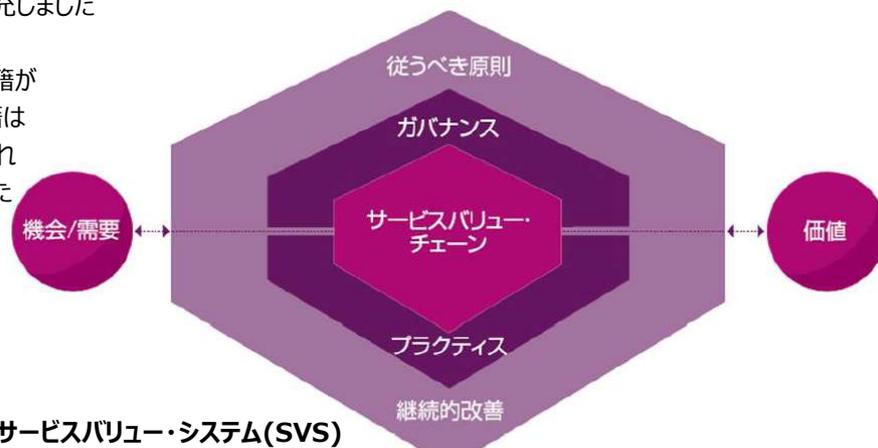
ITIL®4の背景

ITの進化が急激にビジネスを変化させる「デジタル・トランスフォーメーション」(DX)においては、ビジネス変革の方向性に合わせ、クラウド、IoT、ビッグデータ、AI、ロボティクスなど最新のテクノロジーをいち早く最も適した形態で活用することが成功の鍵となります。

ITIL 4は、このような社会的な変化と、それに伴う新たなベストプラクティスの提供を目的とし、DXの実現に必要な要素として、ガバナンス、リーン、アジャイル、DevOpsなどを取り込み、刷新されました。

ITIL®4の特長

- 価値の共創
サービスプロバイダーと消費者が協力して価値を創出する「共創」のモデルを提唱しています。
- サービスバリューシステム
ITIL v3に見られたライフサイクル・アプローチではなく、迅速かつ柔軟に必要な要素を組み合わせる「サービスバリューシステム」を採用しました。
- 優れた既存のフレームワークの採用と統合
上位コースでは、さまざまな組織論、マーケティング的な方法論（カスタマー・ジャーニー）、DXを実現する多様な思考法を扱い、従来のプロセスを重視した内容を大きく拡充しました
- 書籍の構成と資格体系を統一
ITIL®4では資格ごとに対応するITIL書籍が提供されます。このためファンデーション書籍は全体の基礎となるコンテンツのみを、それぞれの上位コースで同様に専門分野に特化した内容を扱うよう整理されました。



Copyright © Hillabit Corp. and the PeopleCert group 2025. All rights reserved.

ITIL® is a registered trademark of the PeopleCert group. Used under licence from PeopleCert. All rights reserved.